

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

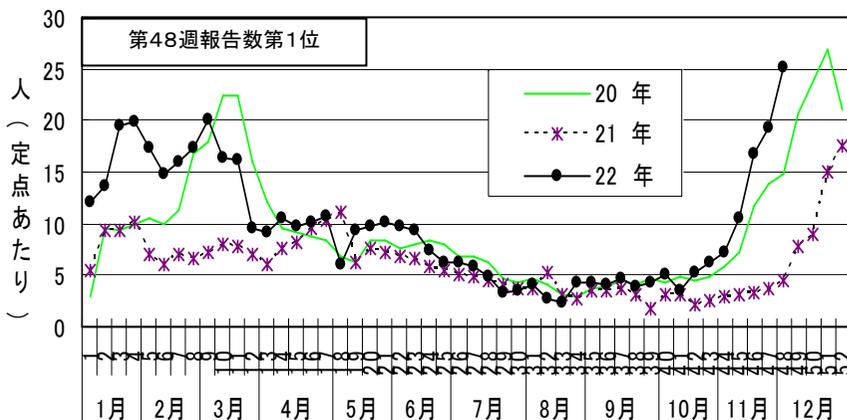


KAWASAKI CITY

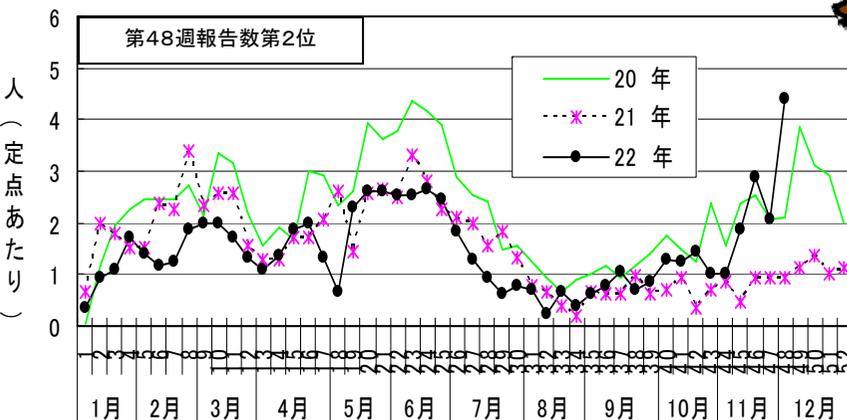
平成22年11月29日（月）～12月5日（日）〔平成22年第48週〕の感染症発生状況

第48週で報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。
 感染性胃腸炎は定点あたり25.09人と前週（19.36）より患者報告数は増加し、流行発生警報基準値（定点あたり20人）を超えております。さらに、平成11年以降の同時期と比較すると、今年は平成18年に次いで2番目に多い報告数となっております。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点あたり4.39人と前週（2.06）より患者報告数は大きく増加しており、平成11年以降の同時期と比較すると、今年は最も多い報告数となっております。特に高津区においては定点あたり10.00人と流行発生警報基準値（定点あたり8人）を超えております。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



『感染性胃腸炎』流行発生警報発令！！

第48週の感染性胃腸炎の報告数が流行発生警報基準値である定点あたり20人を超えたため、川崎市内に**感染性胃腸炎の流行発生警報**を発令しました。次のグラフのとおり、今後感染性胃腸炎患者がさらに増える可能性がありますので注意が必要です。

今の時期の感染性胃腸炎は「ノロウイルス」を原因としたものがほとんどです。一人一人が感染しない・感染させない対策に努め、感染を広げないようにしましょう。

ノロウイルスってどんな症状？

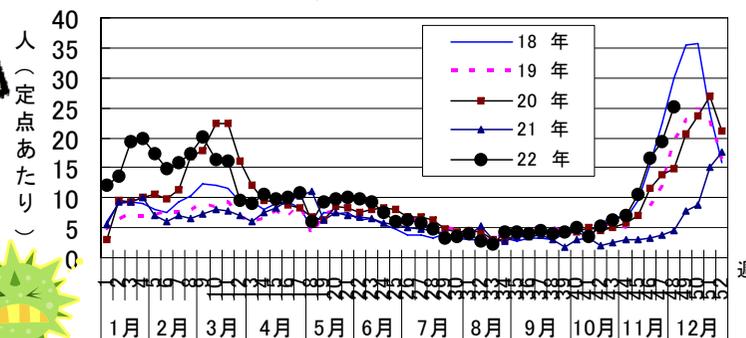
吐き気、おう吐、下痢、腹痛で、熱はそれほど出ません。通常1～2日で症状はおさまります。
 感染しても発症しない人や、軽いかぜ症状で済む人もいます。
 ただし、抵抗力が弱い高齢者や乳幼児などの場合、重症化したり、おう吐物をのどに詰まらせたり、下痢によって脱水症状がひどくなるなどの危険があり、油断は禁物です。



必洗焼手

手洗い・加熱は十分に

感染性胃腸炎発生状況(5年間)



みんなで徹底！！ノロウイルスの感染予防

- ①二枚貝等の生食には注意し、加熱が必要な食品は中まで加熱（85℃で1分以上）して食べるようにしましょう。
- ②患者さんの便やおう吐物、それに汚染された手指、水、食品などを介して経口感染するので、**手洗いを徹底**しましょう。
- ③便や汚物を放置してしまうと、含まれていたノロウイルスが乾燥して空気中に舞い上がり、それが口に入ることによって感染することもあります。患者さんの便やおむつ、吐物は乾燥しないうちに速やかに片付けましょう。
- ④必要に応じて家庭用塩素系漂白剤（※次亜塩素酸ナトリウム）などで消毒してください。※漂白作用があるので使用の際にはご注意ください。